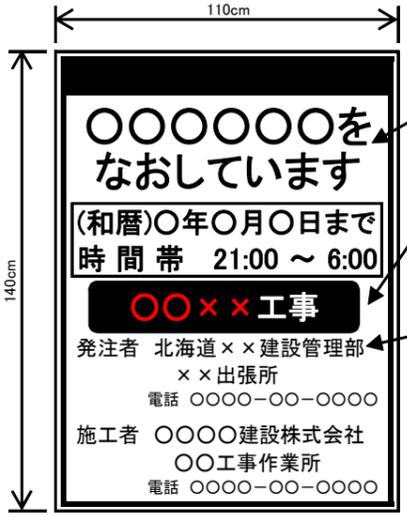
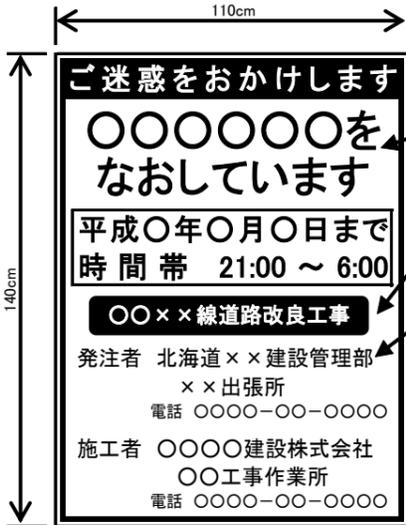


# 北海道建設部土木工事共通仕様書

## 新旧対照表

「北海道建設部土木工事共通仕様書（令和3年10月版）」を一部改定し、「北海道建設部土木工事共通仕様書（令和4年10月版）」として、令和4年10月1日以後に入札する工事から適用する

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
<p>Ⅲ 付 表</p> <p>目 次</p> <p>Ⅲ-<u>章</u>- 頁</p> <p><b>1. 道路工事に伴う道路標識の設置基準等</b></p> <p><b>1-2 道路標識、補助標識板、標示施設及び防護施設の規格</b></p> <p>1. 標示板等の様式は他の通達等に定めるもののほか、次に掲げるものとする。なお、警戒標識は1.6倍、規制標識は1.5倍を原則とする。ただし、道路の状況等により、前者を1.3倍、後者を1.0倍とすることができる。</p> <p>様式1・様式2 (省略)</p> <p style="text-align: center;">様式3</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">  </div> <div> <p>工事の内容、目的等をわかりやすい表現で標示する。</p> <p>工事種別名を標示する。  <small>&lt;工事種別記載例&gt;</small>                      舗装補修工事、舗装工事、歩道工事、道路維持工事                      発注者名には、「〇〇総合振興局」の表記は行わないこと。                      (誤)北海道〇〇総合振興局××建設管理部                      (正)北海道××建設管理部</p> <p>※ 色彩は、「ご協力をお願いします」等の挨拶文、工事名については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。</p> </div> </div>	<p>Ⅲ- 頁</p> <p><b>1. 道路工事に伴う道路標識の設置基準等</b></p> <p><b>1-2 道路標識、補助標識板、標示施設及び防護施設の規格</b></p> <p>1. 標示板等の様式は他の通達等に定めるもののほか、次に掲げるものとする。なお、警戒標識は1.6倍、規制標識は1.5倍を原則とする。ただし、道路の状況等により、前者を1.3倍、後者を1.0倍とすることができる。</p> <p>様式1・様式2 (省略)</p> <p style="text-align: center;">様式3</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">  </div> <div> <p>工事の内容、目的等をわかりやすい表現で標示する</p> <p>工事名を標示する</p> <p>発注者名には、「〇〇総合振興局」の表記は行わないこと。                      (誤)北海道〇〇総合振興局××建設管理部                      (正)北海道××建設管理部</p> <p>※ 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、工事名については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。</p> </div> </div>	<p>III-1-5 (III-5)</p>

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
<b>2. 河川工事等に伴う工事標識の設置基準</b>	<b>2. 河川工事等に伴う工事標識の設置基準</b>	
<p><b>2-1 河川工事等を行う場合の工事標識の設置方法</b></p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 工事標識の設置箇所は、工事現場入口の一般通行人の見易い場所とし、形式は下図のとおりとする。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div> <p>工事の内容、目的等をわかりやすい表現で標示する</p> <p>工事名を標示する</p> <p>発注者名には、「〇〇総合振興局」の表記は行わないこと。 (誤) 北海道〇〇総合振興局××建設管理部 (正) 北海道××建設管理部</p> <p>色彩は、「ご協力をお願いします」等の挨拶文、工事名については青地に白抜き文字とし、「〇〇のため、〇〇の工事をしています」等の標示、工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。</p> </div> </div>	<p><b>2-1 河川工事等を行う場合の工事標識の設置方法</b></p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 工事標識の設置箇所は、工事現場入口の一般通行人の見易い場所とし、形式は下図のとおりとする。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div> <p>工事の内容、目的等をわかりやすい表現で標示する</p> <p>工事名を標示する</p> <p>発注者名には、「〇〇総合振興局」の表記は行わないこと。 (誤) 北海道〇〇総合振興局××建設管理部 (正) 北海道××建設管理部</p> <p>※ 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、工事名については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇〇〇を行っています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。</p> </div> </div>	<p>III-2-1 (III-8)</p>

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																						
<p><b>2-2 河川工事等の工事看板の記載例</b></p> <p>1. 河川工事等の工事看板への記載にあたっては、周辺住民等に対して工事に関する情報をわかりやすく発信することとする。記載例は下記を参考とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">基本例</td> <td>                 ○○を防ぐため、○○を○○しています                  ○○を守るため、○○を○○しています                  ○○を点検するため、○○を○○しています             </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">主な工種等</th> <th>記載例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>築堤</td><td>洪水被害を防ぐため、堤防を整備しています</td></tr> <tr><td>河道掘削</td><td>洪水被害を防ぐため、土砂を撤去しています</td></tr> <tr><td>護岸</td><td>○○を守るため、護岸を整備しています</td></tr> <tr><td>堤防除草</td><td>堤防を点検するため、草を刈っています</td></tr> <tr><td>河川樹木伐採</td><td>洪水を防ぐ河川の流れを保つため、樹木を切っています</td></tr> <tr><td>法面補修</td><td>堤防強化のため、のり面を補修しています</td></tr> <tr><td>老朽化対策</td><td>施設の機能を保つため、○○を補修(更新)しています</td></tr> <tr><td>無動力化・自動化・遠隔化</td><td>施設の機能を向上させるため、無動力化(自動化・遠隔化)を行っています</td></tr> <tr><td>環境整備</td><td>良好な水辺空間創出のため、○○を整備しています</td></tr> <tr><td>災害復旧</td><td>壊れた護岸を直しています 堤防を強くするため、○○を整備しています</td></tr> <tr><td>離岸堤人工リーフ</td><td>高波から海岸を守る施設を整備しています</td></tr> <tr><td>砂防堰堤</td><td>土砂災害を防ぐ、砂防堰堤を整備しています</td></tr> <tr><td>地すべり対策(排水ボーリング工)</td><td>地すべり災害を防ぐため、地下水を抜いています</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">※上表を参考に、工事の目的をできるだけ簡潔に伝えるよう工夫することとする。</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">※上記の他に、下記対象工事の場合の記載内容は以下のとおりとする。</p> <hr style="border: 1px solid red; margin: 10px 0;"/> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象工事</th> <th>記載内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="color: red;">流域治水プロジェクト関係工事</td> <td style="color: red;">○○水系流域治水プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>防災・減災対策に資する工事 (総力戦で挑む防災・減災プロジェクト)</td> <td>いのちとくらしをまもる防災減災</td> </tr> <tr> <td>「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事</td> <td>いのちとくらしをまもる防災減災 国土強<sup>きょうじんか</sup>靱化対策工事(5か年加速化対策)</td> </tr> </tbody> </table>	基本例	○○を防ぐため、○○を○○しています ○○を守るため、○○を○○しています ○○を点検するため、○○を○○しています	主な工種等	記載例	築堤	洪水被害を防ぐため、堤防を整備しています	河道掘削	洪水被害を防ぐため、土砂を撤去しています	護岸	○○を守るため、護岸を整備しています	堤防除草	堤防を点検するため、草を刈っています	河川樹木伐採	洪水を防ぐ河川の流れを保つため、樹木を切っています	法面補修	堤防強化のため、のり面を補修しています	老朽化対策	施設の機能を保つため、○○を補修(更新)しています	無動力化・自動化・遠隔化	施設の機能を向上させるため、無動力化(自動化・遠隔化)を行っています	環境整備	良好な水辺空間創出のため、○○を整備しています	災害復旧	壊れた護岸を直しています 堤防を強くするため、○○を整備しています	離岸堤人工リーフ	高波から海岸を守る施設を整備しています	砂防堰堤	土砂災害を防ぐ、砂防堰堤を整備しています	地すべり対策(排水ボーリング工)	地すべり災害を防ぐため、地下水を抜いています	対象工事	記載内容	流域治水プロジェクト関係工事	○○水系流域治水プロジェクト	防災・減災対策に資する工事 (総力戦で挑む防災・減災プロジェクト)	いのちとくらしをまもる防災減災	「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事	いのちとくらしをまもる防災減災 国土強 <sup>きょうじんか</sup> 靱化対策工事(5か年加速化対策)	<p><b>2-2 河川工事等の工事看板の記載例</b></p> <p>1. 河川工事等の工事看板への記載にあたっては、周辺住民等に対して工事に関する情報をわかりやすく発信することとする。記載例は下記を参考とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">基本例</td> <td>                 ○○を防ぐため、○○を○○しています                  ○○を守るため、○○を○○しています                  ○○を点検するため、○○を○○しています             </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">主な工種等</th> <th>記載例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>築堤</td><td>洪水被害を防ぐため、堤防を整備しています</td></tr> <tr><td>河道掘削</td><td>洪水被害を防ぐため、土砂を撤去しています</td></tr> <tr><td>護岸</td><td>○○を守るため、護岸を整備しています</td></tr> <tr><td>堤防除草</td><td>堤防を点検するため、草を刈っています</td></tr> <tr><td>河川樹木伐採</td><td>洪水を防ぐ河川の流れを保つため、樹木を切っています</td></tr> <tr><td>法面補修</td><td>堤防強化のため、のり面を補修しています</td></tr> <tr><td>環境整備</td><td>安全に利用できるよう、○○を整備しています</td></tr> <tr><td>災害復旧</td><td>壊れた護岸を直しています 堤防を強くするため、○○を整備しています</td></tr> <tr><td>離岸堤人工リーフ</td><td>高波から海岸を守る施設を整備しています</td></tr> <tr><td>砂防堰堤</td><td>土砂災害を防ぐ、砂防堰堤を整備しています</td></tr> <tr><td>地すべり対策(排水ボーリング工)</td><td>地すべり災害を防ぐため、地下水を抜いています</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">※上表を参考に、工事の目的をできるだけ簡潔に伝えるよう工夫することとする。</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">※上記の他に、下記対象工事の場合の記載内容は以下のとおりとする。 この場合の工事看板には、上表の主な工種等の記載例の上に、表題として、下記記載内容を表記するものとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象工事</th> <th>記載内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災・減災対策に資する工事 (総力戦で挑む防災・減災プロジェクト)</td> <td>いのちとくらしをまもる防災減災</td> </tr> <tr> <td>「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく工事</td> <td>いのちとくらしをまもる防災減災 国土強<sup>きょうじんか</sup>靱化対策工事</td> </tr> </tbody> </table>	基本例	○○を防ぐため、○○を○○しています ○○を守るため、○○を○○しています ○○を点検するため、○○を○○しています	主な工種等	記載例	築堤	洪水被害を防ぐため、堤防を整備しています	河道掘削	洪水被害を防ぐため、土砂を撤去しています	護岸	○○を守るため、護岸を整備しています	堤防除草	堤防を点検するため、草を刈っています	河川樹木伐採	洪水を防ぐ河川の流れを保つため、樹木を切っています	法面補修	堤防強化のため、のり面を補修しています	環境整備	安全に利用できるよう、○○を整備しています	災害復旧	壊れた護岸を直しています 堤防を強くするため、○○を整備しています	離岸堤人工リーフ	高波から海岸を守る施設を整備しています	砂防堰堤	土砂災害を防ぐ、砂防堰堤を整備しています	地すべり対策(排水ボーリング工)	地すべり災害を防ぐため、地下水を抜いています	対象工事	記載内容	防災・減災対策に資する工事 (総力戦で挑む防災・減災プロジェクト)	いのちとくらしをまもる防災減災	「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく工事	いのちとくらしをまもる防災減災 国土強 <sup>きょうじんか</sup> 靱化対策工事	<p>III-2-2 (III-9)</p>
基本例	○○を防ぐため、○○を○○しています ○○を守るため、○○を○○しています ○○を点検するため、○○を○○しています																																																																							
主な工種等	記載例																																																																							
築堤	洪水被害を防ぐため、堤防を整備しています																																																																							
河道掘削	洪水被害を防ぐため、土砂を撤去しています																																																																							
護岸	○○を守るため、護岸を整備しています																																																																							
堤防除草	堤防を点検するため、草を刈っています																																																																							
河川樹木伐採	洪水を防ぐ河川の流れを保つため、樹木を切っています																																																																							
法面補修	堤防強化のため、のり面を補修しています																																																																							
老朽化対策	施設の機能を保つため、○○を補修(更新)しています																																																																							
無動力化・自動化・遠隔化	施設の機能を向上させるため、無動力化(自動化・遠隔化)を行っています																																																																							
環境整備	良好な水辺空間創出のため、○○を整備しています																																																																							
災害復旧	壊れた護岸を直しています 堤防を強くするため、○○を整備しています																																																																							
離岸堤人工リーフ	高波から海岸を守る施設を整備しています																																																																							
砂防堰堤	土砂災害を防ぐ、砂防堰堤を整備しています																																																																							
地すべり対策(排水ボーリング工)	地すべり災害を防ぐため、地下水を抜いています																																																																							
対象工事	記載内容																																																																							
流域治水プロジェクト関係工事	○○水系流域治水プロジェクト																																																																							
防災・減災対策に資する工事 (総力戦で挑む防災・減災プロジェクト)	いのちとくらしをまもる防災減災																																																																							
「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事	いのちとくらしをまもる防災減災 国土強 <sup>きょうじんか</sup> 靱化対策工事(5か年加速化対策)																																																																							
基本例	○○を防ぐため、○○を○○しています ○○を守るため、○○を○○しています ○○を点検するため、○○を○○しています																																																																							
主な工種等	記載例																																																																							
築堤	洪水被害を防ぐため、堤防を整備しています																																																																							
河道掘削	洪水被害を防ぐため、土砂を撤去しています																																																																							
護岸	○○を守るため、護岸を整備しています																																																																							
堤防除草	堤防を点検するため、草を刈っています																																																																							
河川樹木伐採	洪水を防ぐ河川の流れを保つため、樹木を切っています																																																																							
法面補修	堤防強化のため、のり面を補修しています																																																																							
環境整備	安全に利用できるよう、○○を整備しています																																																																							
災害復旧	壊れた護岸を直しています 堤防を強くするため、○○を整備しています																																																																							
離岸堤人工リーフ	高波から海岸を守る施設を整備しています																																																																							
砂防堰堤	土砂災害を防ぐ、砂防堰堤を整備しています																																																																							
地すべり対策(排水ボーリング工)	地すべり災害を防ぐため、地下水を抜いています																																																																							
対象工事	記載内容																																																																							
防災・減災対策に資する工事 (総力戦で挑む防災・減災プロジェクト)	いのちとくらしをまもる防災減災																																																																							
「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく工事	いのちとくらしをまもる防災減災 国土強 <sup>きょうじんか</sup> 靱化対策工事																																																																							

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																																				
<p><b>5. コンクリートの耐久性向上対策</b></p> <p><b>5-3 アルカリ骨材反応抑制対策</b></p> <p style="text-align: center;"><b>コンクリート中の塩分測定表</b></p> <p>工事名 _____</p> <p>受注者 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>測定者氏名</td> <td></td> <td>測定</td> <td>測定値 (%)</td> <td>塩分量</td> </tr> <tr> <td>立会者氏名</td> <td></td> <td>番号</td> <td>又は空欄</td> <td>(kg/m<sup>3</sup>)</td> </tr> <tr> <td>測定年月日</td> <td>令和 . . 時刻 :</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工種</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートの種類</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートの製造会社名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>セメントの種類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混和剤の種類</td> <td>m<sup>3</sup> 当たり り使用量</td> <td>平均値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位水量</td> <td>kg/m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定器名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>備考：測定結果に対する処置を講じた事項等を記入する。</p>	測定者氏名		測定	測定値 (%)	塩分量	立会者氏名		番号	又は空欄	(kg/m <sup>3</sup> )	測定年月日	令和 . . 時刻 :	1			工種		2			コンクリートの種類		3			コンクリートの製造会社名					セメントの種類					混和剤の種類	m <sup>3</sup> 当たり り使用量	平均値			単位水量	kg/m <sup>3</sup>				測定器名					<p><b>5. コンクリートの耐久性向上対策</b></p> <p><b>5-3 アルカリ骨材反応抑制対策</b></p> <p style="text-align: center;"><b>コンクリート中の塩分測定表</b></p> <p>工事名 _____</p> <p>受注者 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>測定者氏名</td> <td></td> <td>測定</td> <td>測定値 (%)</td> <td>塩分量</td> </tr> <tr> <td>立会者氏名</td> <td></td> <td>番号</td> <td>又は空欄</td> <td>(kg/m<sup>3</sup>)</td> </tr> <tr> <td>測定年月日</td> <td>平成 . . 時刻 :</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工種</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートの種類</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートの製造会社名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>セメントの種類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混和剤の種類</td> <td>m<sup>3</sup> 当たり り使用量</td> <td>平均値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位水量</td> <td>kg/m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定器名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>備考：測定結果に対する処置を講じた事項等を記入する。</p>	測定者氏名		測定	測定値 (%)	塩分量	立会者氏名		番号	又は空欄	(kg/m <sup>3</sup> )	測定年月日	平成 . . 時刻 :	1			工種		2			コンクリートの種類		3			コンクリートの製造会社名					セメントの種類					混和剤の種類	m <sup>3</sup> 当たり り使用量	平均値			単位水量	kg/m <sup>3</sup>				測定器名					<p>III-5-5 (III-47)</p>
測定者氏名		測定	測定値 (%)	塩分量																																																																																																		
立会者氏名		番号	又は空欄	(kg/m <sup>3</sup> )																																																																																																		
測定年月日	令和 . . 時刻 :	1																																																																																																				
工種		2																																																																																																				
コンクリートの種類		3																																																																																																				
コンクリートの製造会社名																																																																																																						
セメントの種類																																																																																																						
混和剤の種類	m <sup>3</sup> 当たり り使用量	平均値																																																																																																				
単位水量	kg/m <sup>3</sup>																																																																																																					
測定器名																																																																																																						
測定者氏名		測定	測定値 (%)	塩分量																																																																																																		
立会者氏名		番号	又は空欄	(kg/m <sup>3</sup> )																																																																																																		
測定年月日	平成 . . 時刻 :	1																																																																																																				
工種		2																																																																																																				
コンクリートの種類		3																																																																																																				
コンクリートの製造会社名																																																																																																						
セメントの種類																																																																																																						
混和剤の種類	m <sup>3</sup> 当たり り使用量	平均値																																																																																																				
単位水量	kg/m <sup>3</sup>																																																																																																					
測定器名																																																																																																						
<p>(注) 塩分濃度を (%) で測定した場合は、次式で塩分量を求める。 塩分量 ( kg/m<sup>3</sup> ) = 単位水量 ( kg/m<sup>3</sup> ) × 測定値 ÷ 100</p>	<p>(注) 塩分濃度を (%) で測定した場合は、次式で塩分量を求める。 塩分量 ( kg/m<sup>3</sup> ) = 単位水量 ( kg/m<sup>3</sup> ) × 測定値 ÷ 100</p>																																																																																																					

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
<p><b>11. 管理データ様式</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: right; color: red;">(様式-1)</p> <p style="color: red;">令和○年度</p> <p style="text-align: center; color: red;">( 工事名 ) 取りまとめ結果表</p> <p style="text-align: center; color: red;">でき形部分検査 または 工事完成検査</p> <p style="margin-top: 20px;"> <span style="display: inline-block; width: 100px;">施工者</span> <span style="display: inline-block; width: 100px;">受注者名</span>  <span style="display: inline-block; width: 100px;">現場代理人</span> <span style="display: inline-block; width: 100px;">氏 名</span>  <span style="display: inline-block; width: 100px;">監理(主任)技術者</span> <span style="display: inline-block; width: 100px;">氏 名</span> </p> </div>	<p><b>11. 管理データ様式</b></p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">様式-1</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(施工管理総括表の表紙記入例) A-4版(21×297)</p> <p>(施工年度)</p> <p>(路線名・河川名)</p> <p>(工事名)</p> <p>(施工管理の種別)</p> <p>(施工者)           受注者</p> <p>(現場代理人)   氏 名</p> <p>(主任技術者 又は監理技術者) 氏 名</p> <p>(測定者)           氏 名</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">〇〇工事でき形測定総括表 品質管理</p> </div> </div>	





# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																						
<div style="text-align: right; font-size: small;">用紙A-4</div> <p>様式-6</p> <h3 style="text-align: center;">土 凍上抑制層の突固め試験</h3> <p>試料採取地名 _____</p> <p>試料番号 _____</p> <p style="text-align: right;">測定者 _____</p> <hr/> <p>試験目的：普通締固め・CBR締固め 乾燥処理前含水比： _____ % 乾燥処理後含水比： _____ %          試験方法の呼び名：試験方法 _____ 試験開始前含水比： _____ % 土粒子の密度： _____          突固め方法： _____ 試料の使用別：繰返し法・非繰返し法          モールド内径：10cm・15cm _____ cm 試料の準備法：乾燥法・湿潤法          試料許容最大粒径 _____ mm 許容最大粒径以上の粗粒分の乾燥重量百分率 _____ %</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <th>測定番号</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> <tr> <td>乾燥密度 <math>\gamma_d</math> (g/cm<sup>3</sup>)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均含水比 <math>w</math> (%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <p style="font-size: x-small;">備考 ● その他突固め方法：ランマー重量 _____ kg、落下高 _____ cm、突固め回数 _____ 回/層( _____ 層)          ●* 湿潤法を用いた場合</p>	測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8	乾燥密度 $\gamma_d$ (g/cm <sup>3</sup> )									平均含水比 $w$ (%)									<div style="text-align: right; font-size: small;">用紙A-4</div> <p>様式-6</p> <h3 style="text-align: center;">土 凍上抑制層の突固め試験</h3> <p>試料採取地名 _____</p> <p>試料番号 _____</p> <p style="text-align: right;">測定者 _____</p> <hr/> <p>試験目的：普通締固め・CBR締固め 乾燥処理前含水比： _____ % 乾燥処理後含水比： _____ %          試験方法の呼び名：試験方法 _____ 試験開始前含水比： _____ % 土粒子の密度： _____          突固め方法： _____ 試料の使用別：繰返し法・非繰返し法          モールド内径：10cm・15cm _____ cm 試料の準備法：乾燥法・湿潤法          試料許容最大粒径 _____ mm 許容最大粒径以上の粗粒分の乾燥重量百分率 _____ %</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <th>測定番号</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> <tr> <td>乾燥密度 <math>\gamma_d</math> (g/cm<sup>3</sup>)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均含水比 <math>w</math> (%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <p style="font-size: x-small;">備考 ● その他突固め方法：ランマー重量 _____ kg、落下高 _____ cm、突固め回数 _____ 回/層( _____ 層)          ●* 湿潤法を用いた場合</p>	測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8	乾燥密度 $\gamma_d$ (g/cm <sup>3</sup> )									平均含水比 $w$ (%)									<p>III-11-9 (III-80)</p>
測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8																																																
乾燥密度 $\gamma_d$ (g/cm <sup>3</sup> )																																																								
平均含水比 $w$ (%)																																																								
測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8																																																
乾燥密度 $\gamma_d$ (g/cm <sup>3</sup> )																																																								
平均含水比 $w$ (%)																																																								

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																		
<div style="text-align: right; font-size: small;">用紙A-4</div> <p>様式-11 路盤材料の突固め及び修正CBR試験成績表</p> <p style="text-align: right;">測定者 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">  </span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">材 料 名</th> <th style="width: 33%;">産 地</th> <th style="width: 33%;">納 入 会 社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">乾燥密度・含水比・CBR関係図</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tbody> <tr> <td>最適含水比 (%)</td> <td style="text-align: center;">5.6</td> </tr> <tr> <td>最大乾燥密度 (g/cm³)</td> <td style="text-align: center;">2.27</td> </tr> <tr> <td>締固め度 (%)</td> <td style="text-align: center;">95</td> </tr> <tr> <td>修正CBR (%)</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">記 事            試 験 目 的： CBR締固め            試験方法の呼び名：試験方法 アスファルト舗装要綱            突 固 め 方 法：第2法 試料の使用別：非繰返し法            モ ー ル ド 内 容：15cm 試料の準備法：乾燥法            試料許容最大粒径：38.1mm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">測 定 番 号</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乾燥密度 <math>\rho_{dg}/\text{cm}^3</math></td> <td>2.17</td> <td>2.21</td> <td>2.25</td> <td>2.27</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>平均含水比 <math>w\%</math></td> <td>3.2</td> <td>4.0</td> <td>4.7</td> <td>6.0</td> <td>6.6</td> <td>7.4</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 記事欄には試験機関名その他を記入すること。</p>	材 料 名	産 地	納 入 会 社				最適含水比 (%)	5.6	最大乾燥密度 (g/cm³)	2.27	締固め度 (%)	95	修正CBR (%)	66	測 定 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	乾燥密度 $\rho_{dg}/\text{cm}^3$	2.17	2.21	2.25	2.27	2.25	2.23			平均含水比 $w\%$	3.2	4.0	4.7	6.0	6.6	7.4			<div style="text-align: right; font-size: small;">用紙A-4</div> <p>様式-11 路盤材料の突固め及び修正CBR試験成績表</p> <p style="text-align: right;">測定者 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">  </span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">材 料 名</th> <th style="width: 33%;">産 地</th> <th style="width: 33%;">納 入 会 社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">乾燥密度・含水比・CBR関係図</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tbody> <tr> <td>最適含水比 (%)</td> <td style="text-align: center;">5.6</td> </tr> <tr> <td>最大乾燥密度 (g/cm³)</td> <td style="text-align: center;">2.27</td> </tr> <tr> <td>締固め度 (%)</td> <td style="text-align: center;">95</td> </tr> <tr> <td>修正CBR (%)</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">記 事            試 験 目 的： CBR締固め            試験方法の呼び名：試験方法 アスファルト舗装要綱            突 固 め 方 法：第2法 試料の使用別：非繰返し法            モ ー ル ド 内 容：15cm 試料の準備法：乾燥法            試料許容最大粒径：38.1mm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">測 定 番 号</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乾燥密度 <math>\rho_{dg}/\text{cm}^3</math></td> <td>2.17</td> <td>2.21</td> <td>2.25</td> <td>2.27</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>平均含水比 <math>w\%</math></td> <td>3.2</td> <td>4.0</td> <td>4.7</td> <td>6.0</td> <td>6.6</td> <td>7.4</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 記事欄には試験機関名その他を記入すること。</p>	材 料 名	産 地	納 入 会 社				最適含水比 (%)	5.6	最大乾燥密度 (g/cm³)	2.27	締固め度 (%)	95	修正CBR (%)	66	測 定 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	乾燥密度 $\rho_{dg}/\text{cm}^3$	2.17	2.21	2.25	2.27	2.25	2.23			平均含水比 $w\%$	3.2	4.0	4.7	6.0	6.6	7.4			<p>III-11-14 (III-85)</p>
材 料 名	産 地	納 入 会 社																																																																																		
最適含水比 (%)	5.6																																																																																			
最大乾燥密度 (g/cm³)	2.27																																																																																			
締固め度 (%)	95																																																																																			
修正CBR (%)	66																																																																																			
測 定 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																												
乾燥密度 $\rho_{dg}/\text{cm}^3$	2.17	2.21	2.25	2.27	2.25	2.23																																																																														
平均含水比 $w\%$	3.2	4.0	4.7	6.0	6.6	7.4																																																																														
材 料 名	産 地	納 入 会 社																																																																																		
最適含水比 (%)	5.6																																																																																			
最大乾燥密度 (g/cm³)	2.27																																																																																			
締固め度 (%)	95																																																																																			
修正CBR (%)	66																																																																																			
測 定 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																												
乾燥密度 $\rho_{dg}/\text{cm}^3$	2.17	2.21	2.25	2.27	2.25	2.23																																																																														
平均含水比 $w\%$	3.2	4.0	4.7	6.0	6.6	7.4																																																																														











# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

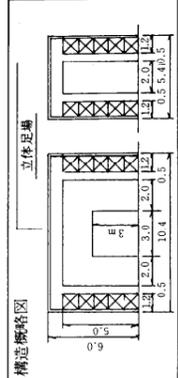
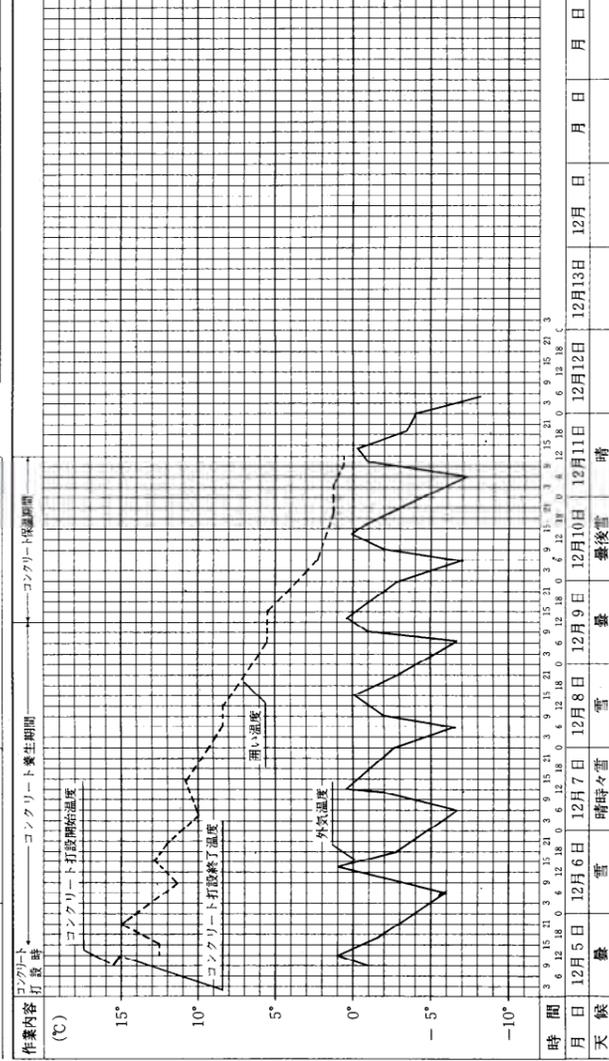
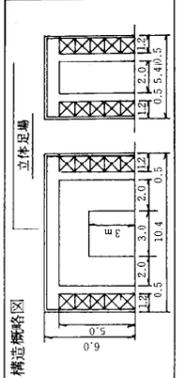
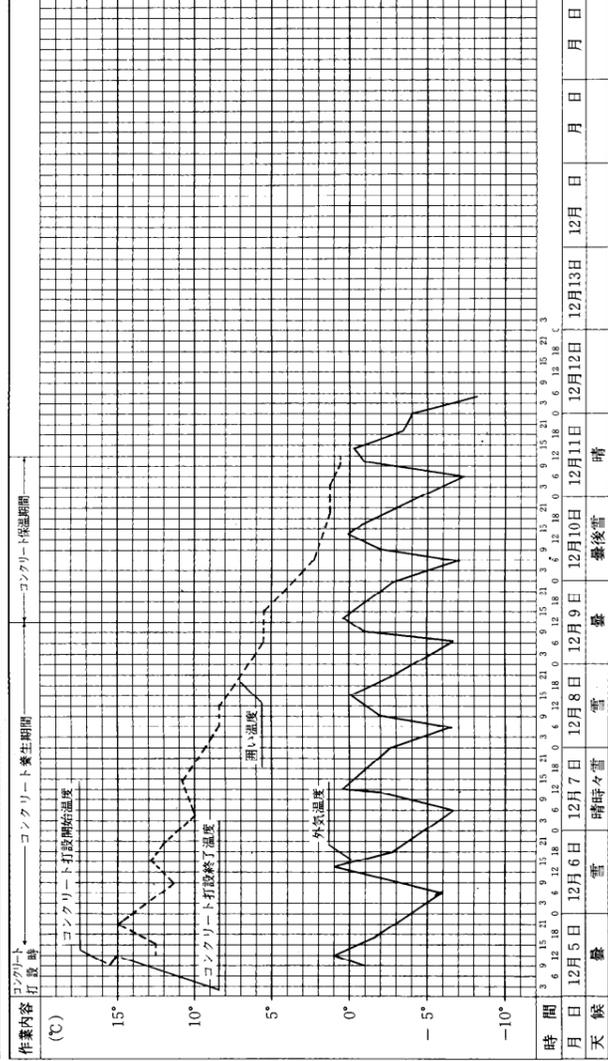
(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
<div style="text-align: right; font-size: small;">用紙A-4</div> <p>様式-20</p> <p style="text-align: center;">空気量、スランプ等の取りまとめ図</p> <p style="text-align: center;">測定者 <span style="float: right;">㊟</span></p> <hr/> <p>配合種別</p> <p>I. 空気量の測定</p> <p>空気量 (4.5%) の場合</p> <div style="text-align: right; font-size: small;"> <math>n = 39</math>  <math>\bar{x} = \frac{3.5 \times 4 + 4.0 \times 13 + 4.5 \times 15 + 5.0 \times 5 + 5.5 \times 2}{39}</math>  <math>= 4.3\%</math> </div> <p style="text-align: center;">→ 空気量 (%)</p> <p>II. スランプの測定</p> <p>スランプ (8 cm) の場合 規格値 (±2.5cm)</p> <div style="text-align: right; font-size: small;"> <math>n = 39</math>  <math>\bar{x} = \frac{6.5 \times 2 + 7 \times 4 + 7.5 \times 10 + 8 \times 16 + 8.5 \times 5 + 9 \times 2}{39}</math>  <math>= 7.8\text{cm}</math> </div> <p style="text-align: center;">→ ス ラ ン プ (cm)</p>	<div style="text-align: right; font-size: small;">用紙A-4</div> <p>様式-20</p> <p style="text-align: center;">空気量、スランプ等の取りまとめ図</p> <p style="text-align: center;">測定者 <span style="float: right;">㊟</span></p> <hr/> <p>配合種別</p> <p>I. 空気量の測定</p> <p>空気量 (4.5%) の場合</p> <div style="text-align: right; font-size: small;"> <math>n = 39</math>  <math>\bar{x} = \frac{3.5 \times 4 + 4.0 \times 13 + 4.5 \times 15 + 5.0 \times 5 + 5.5 \times 2}{39}</math>  <math>= 4.3\%</math> </div> <p style="text-align: center;">→ 空気量 (%)</p> <p>II. スランプの測定</p> <p>スランプ (8 cm) の場合 規格値 (±2.5cm)</p> <div style="text-align: right; font-size: small;"> <math>n = 39</math>  <math>\bar{x} = \frac{6.5 \times 2 + 7 \times 4 + 7.5 \times 10 + 8 \times 16 + 8.5 \times 5 + 9 \times 2}{39}</math>  <math>= 7.8\text{cm}</math> </div> <p style="text-align: center;">→ ス ラ ン プ (cm)</p>	頁 新(旧)  III-11-23 (III-94)



# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																																																																																																																																																								
<p style="text-align: right;">用紙A-4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>様式-23 <span style="float: right;">コンクリート品質検査報告書</span></p> <p style="text-align: right;">測定者 <span style="float: right;"></span></p> <p>配合種別(記号) _____</p> <p>呼び強度 <span style="float: right;">N/mm<sup>2</sup></span></p> <p>※納入生コン工場 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造物</th> <th rowspan="2">打設位置</th> <th rowspan="2">供試体 試験回数 番号</th> <th rowspan="2">最大荷量 (KN)</th> <th colspan="3">圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">供試体採取 作業所名</th> <th rowspan="2">試験 年月日</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>各</th> <th>個</th> <th>平均 3回の 平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <div style="font-size: 8px;"> <p>※試験回数 _____ の圧縮強度試験結果は当作業所に打設のものであることを証明します。  <span style="color: red;">令和</span> 年 月 日            作業所名 _____            責任者 _____ </p> <p>※試験回数 _____ の圧縮強度試験結果は当作業所で施工のものであることを証明します。  <span style="color: red;">令和</span> 年 月 日            作業所名 _____            責任者 _____ </p> </div> <p style="font-size: 8px;">※生コン使用の場合記入する。これに変わる証明でもよい。</p> </div> <td style="vertical-align: top; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">用紙A-4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>様式-23 <span style="float: right;">コンクリート品質検査報告書</span></p> <p style="text-align: right;">測定者 <span style="float: right;"></span></p> <p>配合種別(記号) _____</p> <p>呼び強度 <span style="float: right;">N/mm<sup>2</sup></span></p> <p>※納入生コン工場 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造物</th> <th rowspan="2">打設位置</th> <th rowspan="2">供試体 試験回数 番号</th> <th rowspan="2">最大荷量 (KN)</th> <th colspan="3">圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">供試体採取 作業所名</th> <th rowspan="2">試験 年月日</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>各</th> <th>個</th> <th>平均 3回の 平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <div style="font-size: 8px;"> <p>※試験回数 _____ の圧縮強度試験結果は当作業所に打設のものであることを証明します。            平成 年 月 日            作業所名 _____            責任者 _____ </p> <p>※試験回数 _____ の圧縮強度試験結果は当作業所で施工のものであることを証明します。            平成 年 月 日            作業所名 _____            責任者 _____ </p> </div> <p style="font-size: 8px;">※生コン使用の場合記入する。これに変わる証明でもよい。</p> </div> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>III-11-26 (III-97)</p> </td> </td>	構造物	打設位置	供試体 試験回数 番号	最大荷量 (KN)	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )			供試体採取 作業所名	試験 年月日	備考	各	個	平均 3回の 平均																																																																																											<p style="text-align: right;">用紙A-4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>様式-23 <span style="float: right;">コンクリート品質検査報告書</span></p> <p style="text-align: right;">測定者 <span style="float: right;"></span></p> <p>配合種別(記号) _____</p> <p>呼び強度 <span style="float: right;">N/mm<sup>2</sup></span></p> <p>※納入生コン工場 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造物</th> <th rowspan="2">打設位置</th> <th rowspan="2">供試体 試験回数 番号</th> <th rowspan="2">最大荷量 (KN)</th> <th colspan="3">圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">供試体採取 作業所名</th> <th rowspan="2">試験 年月日</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>各</th> <th>個</th> <th>平均 3回の 平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <div style="font-size: 8px;"> <p>※試験回数 _____ の圧縮強度試験結果は当作業所に打設のものであることを証明します。            平成 年 月 日            作業所名 _____            責任者 _____ </p> <p>※試験回数 _____ の圧縮強度試験結果は当作業所で施工のものであることを証明します。            平成 年 月 日            作業所名 _____            責任者 _____ </p> </div> <p style="font-size: 8px;">※生コン使用の場合記入する。これに変わる証明でもよい。</p> </div> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>III-11-26 (III-97)</p> </td>	構造物	打設位置	供試体 試験回数 番号	最大荷量 (KN)	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )			供試体採取 作業所名	試験 年月日	備考	各	個	平均 3回の 平均																																																																																																					<p>III-11-26 (III-97)</p>
構造物					打設位置	供試体 試験回数 番号	最大荷量 (KN)				圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )			供試体採取 作業所名	試験 年月日	備考																																																																																																																																																																																																										
	各	個	平均 3回の 平均																																																																																																																																																																																																																							
構造物	打設位置	供試体 試験回数 番号	最大荷量 (KN)	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )			供試体採取 作業所名	試験 年月日	備考																																																																																																																																																																																																																	
				各	個	平均 3回の 平均																																																																																																																																																																																																																				

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																
<div style="text-align: center;"> <p>様式-24 寒中コンクリート温度管理記録表 (例)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>構造物名</td> <td>配合種別</td> <td>設計量</td> <td>打設量</td> </tr> <tr> <td>橋脚躯体</td> <td>RC-1</td> <td>52.0</td> <td>52.5</td> </tr> <tr> <td>セメントの種類</td> <td colspan="3">構造場の露出状態</td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント</td> <td colspan="3">普通の露出状態</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">測定者 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span></p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>作業内容 打設時 → コンクリート養生期間 → コンクリート保護期間</p>  </div>	構造物名	配合種別	設計量	打設量	橋脚躯体	RC-1	52.0	52.5	セメントの種類	構造場の露出状態			普通ポルトランドセメント	普通の露出状態			<div style="text-align: center;"> <p>様式-24 寒中コンクリート温度管理記録表 (例)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>構造物名</td> <td>配合種別</td> <td>設計量</td> <td>打設量</td> </tr> <tr> <td>橋脚躯体</td> <td>RC-1</td> <td>52.0</td> <td>52.5</td> </tr> <tr> <td>セメントの種類</td> <td colspan="3">構造場の露出状態</td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント</td> <td colspan="3">普通の露出状態</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">測定者 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span></p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>作業内容 打設時 → コンクリート養生期間 → コンクリート保護期間</p>  </div>	構造物名	配合種別	設計量	打設量	橋脚躯体	RC-1	52.0	52.5	セメントの種類	構造場の露出状態			普通ポルトランドセメント	普通の露出状態			<p>III-11-27 (III-98)</p>
構造物名	配合種別	設計量	打設量																															
橋脚躯体	RC-1	52.0	52.5																															
セメントの種類	構造場の露出状態																																	
普通ポルトランドセメント	普通の露出状態																																	
構造物名	配合種別	設計量	打設量																															
橋脚躯体	RC-1	52.0	52.5																															
セメントの種類	構造場の露出状態																																	
普通ポルトランドセメント	普通の露出状態																																	

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>様式-25</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">レディーミクストコンクリート配合計画書 No. _____</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">製法会社・工場名 _____</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">配合計画者名 _____</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工 事 名 称</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">所 在 地</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">納 入 予 定 時 期</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">本 配 合 の 適 用 期 間<sup>a)</sup></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリートの打込み箇所</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">配 合 の 設 計 条 件</td> </tr> <tr> <td>呼び方</td> <td>コンクリートの種類による記号</td> <td>呼び強度</td> <td>スランプ又はスランプフロー cm</td> <td>粗骨材の最大寸法 mm</td> <td>セメントの種類による記号</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">指 定 事 項</td> <td>セメントの種類</td> <td>呼び強度に記載</td> <td>空気量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">%</td> </tr> <tr> <td>骨材の種類</td> <td>使用材料欄に記載</td> <td>軽量コンクリートの単位容積質量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>粗骨材の最大寸法</td> <td>呼び強度に記載</td> <td>コンクリートの温度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">最高最低 °C</td> </tr> <tr> <td>アルカリシリカ反応抑制対策の方法<sup>b)</sup></td> <td></td> <td>水セメント比の目標値の上限</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">%</td> </tr> <tr> <td>骨材のアルカリシリカ反応性による区分</td> <td>使用材料欄に記載</td> <td>単位水量の目標値の上限</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>水の区分</td> <td>使用材料欄に記載</td> <td>単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>混和材料の種類及び使用量</td> <td>使用材料及び配合表欄に記載</td> <td>流動化後のスランプ増大量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">cm</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">使 用 材 料<sup>c)</sup></td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>生産者名</td> <td>種類</td> <td>密度 g/cm<sup>3</sup></td> <td>Na<sub>2</sub>Oeq<sup>d)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>混和材</td> <td>製品名</td> <td>種類</td> <td>密度 g/cm<sup>3</sup></td> <td>Na<sub>2</sub>Oeq<sup>e)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">骨 材</td> <td rowspan="2">No.</td> <td rowspan="2">種類</td> <td rowspan="2">産地又は品名</td> <td rowspan="2">アルカリシリカ反応性による区分<sup>f)</sup></td> <td rowspan="2">粒の大きさの範囲<sup>g)</sup></td> <td rowspan="2">粗粒率又は実績率<sup>h)</sup></td> <td colspan="2">密度 g/cm<sup>3</sup></td> <td rowspan="2">微粒分量の範囲<sup>i)</sup></td> </tr> <tr> <td>絶乾</td> <td>表乾</td> </tr> <tr> <td>細骨材</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>粗骨材</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混和剤①</td> <td>製品名</td> <td>種類</td> <td colspan="2">Na<sub>2</sub>Oeq<sup>j)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>混和剤②</td> <td>製品名</td> <td>種類</td> <td colspan="2">Na<sub>2</sub>Oeq<sup>j)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">細骨材の塩化物量<sup>k)</sup></td> <td>%</td> <td colspan="2">水の区分<sup>l)</sup></td> <td colspan="2">目標スラッジ固形分率<sup>m)</sup></td> <td colspan="3">%</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">配 合 表<sup>n)</sup> kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>混和材</td> <td>水</td> <td>細骨材①</td> <td>細骨材②</td> <td>細骨材③</td> <td>粗骨材①</td> <td>粗骨材②</td> <td>粗骨材③</td> <td>混和剤①</td> <td>混和剤②</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水セメント比</td> <td>%</td> <td colspan="2">水結合材比<sup>o)</sup></td> <td>%</td> <td colspan="2">細骨材率</td> <td colspan="3">%</td> </tr> <tr> <td colspan="10">備考 骨材の質量配合割合<sup>p)</sup>、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。</td> </tr> </table>	レディーミクストコンクリート配合計画書 No. _____										製法会社・工場名 _____										配合計画者名 _____										工 事 名 称										所 在 地										納 入 予 定 時 期										本 配 合 の 適 用 期 間 <sup>a)</sup>										コンクリートの打込み箇所										配 合 の 設 計 条 件										呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号					指 定 事 項	セメントの種類	呼び強度に記載	空気量			%				骨材の種類	使用材料欄に記載	軽量コンクリートの単位容積質量			kg/m <sup>3</sup>				粗骨材の最大寸法	呼び強度に記載	コンクリートの温度			最高最低 °C				アルカリシリカ反応抑制対策の方法 <sup>b)</sup>		水セメント比の目標値の上限			%				骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	単位水量の目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>				水の区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>				混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	流動化後のスランプ増大量			cm				使 用 材 料 <sup>c)</sup>										セメント	生産者名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>d)</sup> %						混和材	製品名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>e)</sup> %						骨 材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 <sup>f)</sup>	粒の大きさの範囲 <sup>g)</sup>	粗粒率又は実績率 <sup>h)</sup>	密度 g/cm <sup>3</sup>		微粒分量の範囲 <sup>i)</sup>	絶乾	表乾	細骨材	①										②									粗骨材	①										②										③									混和剤①	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %							混和剤②	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %							細骨材の塩化物量 <sup>k)</sup>		%	水の区分 <sup>l)</sup>		目標スラッジ固形分率 <sup>m)</sup>		%			配 合 表 <sup>n)</sup> kg/m <sup>3</sup>										セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	水セメント比		%	水結合材比 <sup>o)</sup>		%	細骨材率		%			備考 骨材の質量配合割合 <sup>p)</sup> 、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。										<p>様式-25</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">レディーミクストコンクリート配合計画書 No. _____</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">製法会社・工場名 _____</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">配合計画者名 _____</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工 事 名 称</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">所 在 地</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">納 入 予 定 時 期</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">本 配 合 の 適 用 期 間<sup>a)</sup></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリートの打込み箇所</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">配 合 の 設 計 条 件</td> </tr> <tr> <td>呼び方</td> <td>コンクリートの種類による記号</td> <td>呼び強度</td> <td>スランプ又はスランプフロー cm</td> <td>粗骨材の最大寸法 mm</td> <td>セメントの種類による記号</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">指 定 事 項</td> <td>セメントの種類</td> <td>呼び強度に記載</td> <td>空気量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">%</td> </tr> <tr> <td>骨材の種類</td> <td>使用材料欄に記載</td> <td>軽量コンクリートの単位容積質量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>粗骨材の最大寸法</td> <td>呼び強度に記載</td> <td>コンクリートの温度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">最高最低 °C</td> </tr> <tr> <td>アルカリシリカ反応抑制対策の方法<sup>b)</sup></td> <td></td> <td>水セメント比の目標値の上限</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">%</td> </tr> <tr> <td>骨材のアルカリシリカ反応性による区分</td> <td>使用材料欄に記載</td> <td>単位水量の目標値の上限</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>水の区分</td> <td>使用材料欄に記載</td> <td>単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>混和材料の種類及び使用量</td> <td>使用材料及び配合表欄に記載</td> <td>流動化後のスランプ増大量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">cm</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">使 用 材 料<sup>c)</sup></td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>生産者名</td> <td>種類</td> <td>密度 g/cm<sup>3</sup></td> <td>Na<sub>2</sub>Oeq<sup>d)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>混和材</td> <td>製品名</td> <td>種類</td> <td>密度 g/cm<sup>3</sup></td> <td>Na<sub>2</sub>Oeq<sup>e)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">骨 材</td> <td rowspan="2">No.</td> <td rowspan="2">種類</td> <td rowspan="2">産地又は品名</td> <td rowspan="2">アルカリシリカ反応性による区分<sup>f)</sup></td> <td rowspan="2">粒の大きさの範囲<sup>g)</sup></td> <td rowspan="2">粗粒率又は実績率<sup>h)</sup></td> <td colspan="2">密度 g/cm<sup>3</sup></td> <td rowspan="2">微粒分量の範囲<sup>i)</sup></td> </tr> <tr> <td>絶乾</td> <td>表乾</td> </tr> <tr> <td>細骨材</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>粗骨材</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混和剤①</td> <td>製品名</td> <td>種類</td> <td colspan="2">Na<sub>2</sub>Oeq<sup>j)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>混和剤②</td> <td>製品名</td> <td>種類</td> <td colspan="2">Na<sub>2</sub>Oeq<sup>j)</sup> %</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">細骨材の塩化物量<sup>k)</sup></td> <td>%</td> <td colspan="2">水の区分<sup>l)</sup></td> <td colspan="2">目標スラッジ固形分率<sup>m)</sup></td> <td colspan="3">%</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">配 合 表<sup>n)</sup> kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>混和材</td> <td>水</td> <td>細骨材①</td> <td>細骨材②</td> <td>細骨材③</td> <td>粗骨材①</td> <td>粗骨材②</td> <td>粗骨材③</td> <td>混和剤①</td> <td>混和剤②</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水セメント比</td> <td>%</td> <td colspan="2">水結合材比<sup>o)</sup></td> <td>%</td> <td colspan="2">細骨材率</td> <td colspan="3">%</td> </tr> <tr> <td colspan="10">備考 骨材の質量配合割合<sup>p)</sup>、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。</td> </tr> </table>	レディーミクストコンクリート配合計画書 No. _____										製法会社・工場名 _____										配合計画者名 _____										工 事 名 称										所 在 地										納 入 予 定 時 期										本 配 合 の 適 用 期 間 <sup>a)</sup>										コンクリートの打込み箇所										配 合 の 設 計 条 件										呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号					指 定 事 項	セメントの種類	呼び強度に記載	空気量			%				骨材の種類	使用材料欄に記載	軽量コンクリートの単位容積質量			kg/m <sup>3</sup>				粗骨材の最大寸法	呼び強度に記載	コンクリートの温度			最高最低 °C				アルカリシリカ反応抑制対策の方法 <sup>b)</sup>		水セメント比の目標値の上限			%				骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	単位水量の目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>				水の区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>				混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	流動化後のスランプ増大量			cm				使 用 材 料 <sup>c)</sup>										セメント	生産者名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>d)</sup> %						混和材	製品名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>e)</sup> %						骨 材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 <sup>f)</sup>	粒の大きさの範囲 <sup>g)</sup>	粗粒率又は実績率 <sup>h)</sup>	密度 g/cm <sup>3</sup>		微粒分量の範囲 <sup>i)</sup>	絶乾	表乾	細骨材	①										②									粗骨材	①										②										③									混和剤①	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %							混和剤②	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %							細骨材の塩化物量 <sup>k)</sup>		%	水の区分 <sup>l)</sup>		目標スラッジ固形分率 <sup>m)</sup>		%			配 合 表 <sup>n)</sup> kg/m <sup>3</sup>										セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	水セメント比		%	水結合材比 <sup>o)</sup>		%	細骨材率		%			備考 骨材の質量配合割合 <sup>p)</sup> 、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。										<p>III-11-28 (III-99)</p>
レディーミクストコンクリート配合計画書 No. _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
製法会社・工場名 _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
配合計画者名 _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工 事 名 称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
所 在 地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
納 入 予 定 時 期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
本 配 合 の 適 用 期 間 <sup>a)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
コンクリートの打込み箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
配 合 の 設 計 条 件																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
指 定 事 項	セメントの種類	呼び強度に記載	空気量			%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	骨材の種類	使用材料欄に記載	軽量コンクリートの単位容積質量			kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	粗骨材の最大寸法	呼び強度に記載	コンクリートの温度			最高最低 °C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法 <sup>b)</sup>		水セメント比の目標値の上限			%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	単位水量の目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	水の区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	流動化後のスランプ増大量			cm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
使 用 材 料 <sup>c)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
セメント	生産者名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>d)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
混和材	製品名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>e)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
骨 材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 <sup>f)</sup>	粒の大きさの範囲 <sup>g)</sup>	粗粒率又は実績率 <sup>h)</sup>	密度 g/cm <sup>3</sup>		微粒分量の範囲 <sup>i)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
							絶乾	表乾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
細骨材	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
粗骨材	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
混和剤①	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
混和剤②	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
細骨材の塩化物量 <sup>k)</sup>		%	水の区分 <sup>l)</sup>		目標スラッジ固形分率 <sup>m)</sup>		%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
配 合 表 <sup>n)</sup> kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水セメント比		%	水結合材比 <sup>o)</sup>		%	細骨材率		%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
備考 骨材の質量配合割合 <sup>p)</sup> 、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
レディーミクストコンクリート配合計画書 No. _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
製法会社・工場名 _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
配合計画者名 _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工 事 名 称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
所 在 地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
納 入 予 定 時 期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
本 配 合 の 適 用 期 間 <sup>a)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
コンクリートの打込み箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
配 合 の 設 計 条 件																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
指 定 事 項	セメントの種類	呼び強度に記載	空気量			%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	骨材の種類	使用材料欄に記載	軽量コンクリートの単位容積質量			kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	粗骨材の最大寸法	呼び強度に記載	コンクリートの温度			最高最低 °C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法 <sup>b)</sup>		水セメント比の目標値の上限			%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	単位水量の目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	水の区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限			kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	流動化後のスランプ増大量			cm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
使 用 材 料 <sup>c)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
セメント	生産者名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>d)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
混和材	製品名	種類	密度 g/cm <sup>3</sup>	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>e)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
骨 材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 <sup>f)</sup>	粒の大きさの範囲 <sup>g)</sup>	粗粒率又は実績率 <sup>h)</sup>	密度 g/cm <sup>3</sup>		微粒分量の範囲 <sup>i)</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
							絶乾	表乾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
細骨材	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
粗骨材	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
混和剤①	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
混和剤②	製品名	種類	Na <sub>2</sub> Oeq <sup>j)</sup> %																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
細骨材の塩化物量 <sup>k)</sup>		%	水の区分 <sup>l)</sup>		目標スラッジ固形分率 <sup>m)</sup>		%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
配 合 表 <sup>n)</sup> kg/m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水セメント比		%	水結合材比 <sup>o)</sup>		%	細骨材率		%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
備考 骨材の質量配合割合 <sup>p)</sup> 、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																																				
<p style="text-align: center;">様式-26</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     レディーミクストコンクリート納入書                 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 60%; text-align: center;"> <span style="font-size: small;">No.</span>                      令和 年 月 日                 </td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> <span style="font-size: small;">No.</span>                      平成 年 月 日                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">製造会社・工場名</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 60%;">納入場所</td> <td style="width: 40%;">所</td> </tr> <tr> <td>運搬車番号</td> <td>号</td> </tr> <tr> <td>納入時刻</td> <td>発着時刻</td> </tr> <tr> <td>納 入 容 積</td> <td>時 分</td> </tr> <tr> <td>呼 び 方</td> <td>時 分</td> </tr> <tr> <td>                     コンクリートの種類による記号                      呼び強度                      スランブ又はスランブフロー cm                      粗骨材の最大寸法 mm                      セメントの種類による記号                 </td> <td>                     m<sup>3</sup>                      果 計                      m<sup>3</sup> </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td colspan="11" style="text-align: center;">配 合 表 a) kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>混和材</td> <td>水</td> <td>細骨材①</td> <td>細骨材②</td> <td>細骨材③</td> <td>粗骨材①</td> <td>粗骨材②</td> <td>粗骨材③</td> <td>混和剤①</td> <td>混和剤②</td> </tr> <tr> <td>水セメント比</td> <td>%</td> <td>水結合材比 b)</td> <td>%</td> <td>細骨材率</td> <td>%</td> <td>スラッジ固形分率</td> <td>%</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">備考 配合の種類：<input type="checkbox"/>標準配合 <input type="checkbox"/>修正標準配合 <input type="checkbox"/>計量読取記録から算出した単位量  <input type="checkbox"/>計量印字記録から算出した単位量 <input type="checkbox"/>計量印字記録から自動算出した単位量</p> <p style="font-size: x-small;">荷受職員認印 出荷係認印</p> <p style="font-size: x-small;">注記 用紙の大きさは、日本工業規格A列5番（148mm×210mm）又はB列5番（182mm×257mm）とするのが望ましい。</p> <p style="font-size: x-small;">注 a) 標準配合、修正標準配合、計量読取記録から算出した単位量、計量印字記録から算出した単位量、若しくは計量印字記録から自動算出した単位量のいずれかを記載する。また、備考欄の配合種別については、該当する項目にマークを付す。</p> <p style="font-size: x-small;">b) 高炉スラグ微粉末などを結合材として使用した場合にだけ記入する。</p>	<span style="font-size: small;">No.</span> 令和 年 月 日	<span style="font-size: small;">No.</span> 平成 年 月 日	製造会社・工場名		納入場所	所	運搬車番号	号	納入時刻	発着時刻	納 入 容 積	時 分	呼 び 方	時 分	コンクリートの種類による記号 呼び強度 スランブ又はスランブフロー cm 粗骨材の最大寸法 mm セメントの種類による記号	m <sup>3</sup> 果 計 m <sup>3</sup>	配 合 表 a) kg/m <sup>3</sup>											セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	水セメント比	%	水結合材比 b)	%	細骨材率	%	スラッジ固形分率	%					<p style="text-align: center;">様式-26</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     レディーミクストコンクリート納入書                 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 60%; text-align: center;"> <span style="font-size: small;">No.</span>                      令和 年 月 日                 </td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> <span style="font-size: small;">No.</span>                      平成 年 月 日                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">製造会社・工場名</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 60%;">納入場所</td> <td style="width: 40%;">所</td> </tr> <tr> <td>運搬車番号</td> <td>号</td> </tr> <tr> <td>納入時刻</td> <td>発着時刻</td> </tr> <tr> <td>納 入 容 積</td> <td>時 分</td> </tr> <tr> <td>呼 び 方</td> <td>時 分</td> </tr> <tr> <td>                     コンクリートの種類による記号                      呼び強度                      スランブ又はスランブフロー cm                      粗骨材の最大寸法 mm                      セメントの種類による記号                 </td> <td>                     m<sup>3</sup>                      果 計                      m<sup>3</sup> </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td colspan="11" style="text-align: center;">配 合 表 a) kg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>混和材</td> <td>水</td> <td>細骨材①</td> <td>細骨材②</td> <td>細骨材③</td> <td>粗骨材①</td> <td>粗骨材②</td> <td>粗骨材③</td> <td>混和剤①</td> <td>混和剤②</td> </tr> <tr> <td>水セメント比</td> <td>%</td> <td>水結合材比 b)</td> <td>%</td> <td>細骨材率</td> <td>%</td> <td>スラッジ固形分率</td> <td>%</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">備考 配合の種類：<input type="checkbox"/>標準配合 <input type="checkbox"/>修正標準配合 <input type="checkbox"/>計量読取記録から算出した単位量  <input type="checkbox"/>計量印字記録から算出した単位量 <input type="checkbox"/>計量印字記録から自動算出した単位量</p> <p style="font-size: x-small;">荷受職員認印 出荷係認印</p> <p style="font-size: x-small;">注記 用紙の大きさは、日本工業規格A列5番（148mm×210mm）又はB列5番（182mm×257mm）とするのが望ましい。</p> <p style="font-size: x-small;">注 a) 標準配合、修正標準配合、計量読取記録から算出した単位量、計量印字記録から算出した単位量、若しくは計量印字記録から自動算出した単位量のいずれかを記載する。また、備考欄の配合種別については、該当する項目にマークを付す。</p> <p style="font-size: x-small;">b) 高炉スラグ微粉末などを結合材として使用した場合にだけ記入する。</p>	<span style="font-size: small;">No.</span> 令和 年 月 日	<span style="font-size: small;">No.</span> 平成 年 月 日	製造会社・工場名		納入場所	所	運搬車番号	号	納入時刻	発着時刻	納 入 容 積	時 分	呼 び 方	時 分	コンクリートの種類による記号 呼び強度 スランブ又はスランブフロー cm 粗骨材の最大寸法 mm セメントの種類による記号	m <sup>3</sup> 果 計 m <sup>3</sup>	配 合 表 a) kg/m <sup>3</sup>											セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	水セメント比	%	水結合材比 b)	%	細骨材率	%	スラッジ固形分率	%					III-11-30 (III-101)
<span style="font-size: small;">No.</span> 令和 年 月 日	<span style="font-size: small;">No.</span> 平成 年 月 日																																																																																																					
製造会社・工場名																																																																																																						
納入場所	所																																																																																																					
運搬車番号	号																																																																																																					
納入時刻	発着時刻																																																																																																					
納 入 容 積	時 分																																																																																																					
呼 び 方	時 分																																																																																																					
コンクリートの種類による記号 呼び強度 スランブ又はスランブフロー cm 粗骨材の最大寸法 mm セメントの種類による記号	m <sup>3</sup> 果 計 m <sup>3</sup>																																																																																																					
配 合 表 a) kg/m <sup>3</sup>																																																																																																						
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②																																																																																												
水セメント比	%	水結合材比 b)	%	細骨材率	%	スラッジ固形分率	%																																																																																															
<span style="font-size: small;">No.</span> 令和 年 月 日	<span style="font-size: small;">No.</span> 平成 年 月 日																																																																																																					
製造会社・工場名																																																																																																						
納入場所	所																																																																																																					
運搬車番号	号																																																																																																					
納入時刻	発着時刻																																																																																																					
納 入 容 積	時 分																																																																																																					
呼 び 方	時 分																																																																																																					
コンクリートの種類による記号 呼び強度 スランブ又はスランブフロー cm 粗骨材の最大寸法 mm セメントの種類による記号	m <sup>3</sup> 果 計 m <sup>3</sup>																																																																																																					
配 合 表 a) kg/m <sup>3</sup>																																																																																																						
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②																																																																																												
水セメント比	%	水結合材比 b)	%	細骨材率	%	スラッジ固形分率	%																																																																																															

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <small>様式-28</small>  <p style="text-align: center;"><b>注入コンクリート報告書</b></p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">様 工事名</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%;">注入箇所</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">粗骨材 填充月日</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">填充量</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">注 入 時 刻</td> <td style="text-align: center;">開 始</td> <td style="text-align: center;">前 後</td> <td style="text-align: center;">時 分</td> <td style="text-align: center;">所 要</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">時 間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">終 了</td> <td style="text-align: center;">前 後</td> <td style="text-align: center;">時 分</td> <td style="text-align: center;">時 間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">注 入 量</td> <td style="text-align: center;">バッチ 数</td> <td style="text-align: center;">総量</td> <td style="text-align: center;">セメント 使用量</td> <td style="text-align: center;">セメント 使用量</td> <td style="text-align: center;">時間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">フ ロー 値</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> <td style="text-align: center;">2 回</td> <td style="text-align: center;">3 回</td> <td style="text-align: center;">4 回</td> <td style="text-align: center;">5 回</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注入状況その他（パイプ配置略図等）</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 5px;"></div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; font-size: x-small;">監督員認印</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center; font-size: x-small;">報告者認印</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table>	注入箇所		粗骨材 填充月日		填充量		注 入 時 刻	開 始	前 後	時 分	所 要	時 間	終 了	前 後	時 分	時 間	注 入 量	バッチ 数	総量	セメント 使用量	セメント 使用量	時間	フ ロー 値	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	監督員認印		報告者認印		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <small>様式-28</small>  <p style="text-align: center;"><b>注入コンクリート報告書</b></p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">様 工事名</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%;">注入箇所</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">粗骨材 填充月日</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">填充量</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">注 入 時 刻</td> <td style="text-align: center;">開 始</td> <td style="text-align: center;">前 後</td> <td style="text-align: center;">時 分</td> <td style="text-align: center;">所 要</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">時 間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">終 了</td> <td style="text-align: center;">前 後</td> <td style="text-align: center;">時 分</td> <td style="text-align: center;">時 間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">注 入 量</td> <td style="text-align: center;">バッチ 数</td> <td style="text-align: center;">総量</td> <td style="text-align: center;">セメント 使用量</td> <td style="text-align: center;">セメント 使用量</td> <td style="text-align: center;">時間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">フ ロー 値</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> <td style="text-align: center;">2 回</td> <td style="text-align: center;">3 回</td> <td style="text-align: center;">4 回</td> <td style="text-align: center;">5 回</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注入状況その他（パイプ配置略図等）</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 5px;"></div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; font-size: x-small;">監督員認印</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center; font-size: x-small;">報告者認印</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table>	注入箇所		粗骨材 填充月日		填充量		注 入 時 刻	開 始	前 後	時 分	所 要	時 間	終 了	前 後	時 分	時 間	注 入 量	バッチ 数	総量	セメント 使用量	セメント 使用量	時間	フ ロー 値	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	監督員認印		報告者認印		頁 新(旧)  III-11-32 (III-103)
注入箇所		粗骨材 填充月日		填充量																																																														
注 入 時 刻	開 始	前 後	時 分	所 要	時 間																																																													
	終 了	前 後	時 分	時 間																																																														
注 入 量	バッチ 数	総量	セメント 使用量	セメント 使用量	時間																																																													
フ ロー 値	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回																																																													
監督員認印		報告者認印																																																																
注入箇所		粗骨材 填充月日		填充量																																																														
注 入 時 刻	開 始	前 後	時 分	所 要	時 間																																																													
	終 了	前 後	時 分	時 間																																																														
注 入 量	バッチ 数	総量	セメント 使用量	セメント 使用量	時間																																																													
フ ロー 値	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回																																																													
監督員認印		報告者認印																																																																